

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

小学校・第4学年

社会科

単元名 「県内の特色ある地域の様子」

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

地域を維持・発展させるということはどういうことか。

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

【伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域】

呉市では、いつから、どのようにして川尻筆が作られ、なぜ受けつがれてきたのだろうか。

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 広島県にはどのような特色の地域があるか。
- ・ 呉市（川尻町）はどのような自然環境のところか。
- ・ 川尻での筆づくりは、どのような経緯で始まったか。
- ・ 地元の人々は、どのように協力しているか。

単元計画の
構想を立てる

- 1 広島県の工芸品について知り、課題を設定する。
- 2 川尻筆について調べる（環境・歴史・作り方・経緯・人々の思い等）。
- 3 学習課題に対する自分の考えをまとめ、学習を振り返る。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

小学校・第5学年

社会科

単元名 水産業のさかんな地域

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

「産業」が発展することは、我が国の暮らしをどのように変えていくのだろうか。

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

どのようにして、水産業に関わる人々は、よりよい水産物を消費者に届けているのだろうか。

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

消費者によりよい水産物を届けるための工夫は何だろう。

- ・とる漁業の工夫とは何か。
- ・つくり育てる漁業の工夫とは何か。
- ・様々な水産物を消費者のもとに届けるまでの工夫とは何か。
- ・より生産性・品質を高めるための工夫とは何か。

単元計画の
構想を立てる

- 1 水産業について、普段の生活経験を話し合い、気づきや疑問を出し合う。
- 2 水産業の課題（生産量変化等）に着目し、単元を貫く問いを設定する。
- 3 単元を貫く問いについて、予想や仮説を立て、調査方法を吟味する。
- 4 予想や仮説の検証に向けて調べ、水産業に関わる人々の工夫の意味や意義、生産性や品質、人々の協力関係、外国との関わり等の関連を考察する。